

様式第1号（第4条関係）

平成30年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

平成30年 6月 18日

（あて先）

さいたま市長

所在地 さいたま市中央区  
上落合1丁目9番1-403  
団体名 特定非営利活動法人  
ライフ・アンド・アフォーディングセンター  
代表者氏名 須齋 美智子

下記により、平成30年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 681,810 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



平成 30 年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業計画書

平成 30 年 6 月 18 日

団体名 特定非営利活動法人  
 ライフ・アンド・エンディングセンター  
 所在地 〒338-0001  
 埼玉県さいたま市中央区上落合 1-9-1-403  
 代表者名 須齋 美智子 印

事業の名称	パンフレット「おひとりさまの終活入門」の発行と啓発イベントの開催
実施期間	平成 30 年 4 月 25 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
事業のテーマ	社会に負担を転嫁しない終活のすすめ
事業の概要	<p>単身高齢者の増加が社会問題となっています。また、身寄りのない高齢者が亡くなった際には対応する機関がなく、本人も望まない最期を迎えることになっています。</p> <p>私たちは平成 29 年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業で一人暮らしの高齢者向けの啓発講座「不安のない一人暮らしのための終活」をテーマとして、さいたま市高齢福祉課と協働で、浦和コミュニティセンターにおいて成年後見・貧困・信託・公正証書などの講座を全 6 回で開催しました。</p> <p>平成 30 年度はその知見を活かして、さいたま市や今年度の関係者ととともに編集会議を開き、おひとりさまの終活に必要な情報を集めたパンフレット「おひとりさまの終活入門（仮題）」を作成し、各公共施設、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの各種福祉施設にて配布し、高齢者への啓発と終活への適切な情報提供を行います（12 ページ予定、10,000 部印刷予定）。また、その冊子を基に、さいたま市の浦和、与野、大宮、岩槻の 4 会場で啓発イベントを行います。各会場では地域の高齢者福祉を行う団体と連携して、希望者に個別の相談対応なども行い、啓発とともに、高齢者が不安なく安心して暮らせるような環境を創出します。</p>
総事業費	981,810 円（助成金交付申請額 681,810 円）

団体名 特定非営利活動法人ライフ・アンド・エンディングセンター

## 1 現状における課題と事業の目的

内閣府発行の平成 28 年度高齢者白書によると、一人暮らしの高齢者は 1980 年には 88 万 1 千人でしたが、2010 年には 479 万人（約 5.4 倍）、さらに 2035 年には 762 万人（約 8.6 倍）に上ると推計されています。

身寄りのない高齢者が亡くなった場合、対応する民間業者は少数ありますが、行政には対応する部署がなく、本来の職務ではない市の関連部署が葬儀の手配、死後の事務処理を行っています。相続人がいる場合でも、相続人を探す事務や連絡など多くの職員の時間と手間がかかります。さらに相続人が見つかった場合でも、死後の事務処理を行えないケースもあります。

その場合は市役所の職員、市の財源を使用し、葬儀や死後の事務処理を行った後、亡くなった本人の財産は国庫へと送られます。それは亡くなった方にとっても本意ではない葬儀であり、見送られ方であるとも言えるのではないのでしょうか。

多死社会を迎える今、この現状を社会問題として市民の皆さんに提議し、市役所・市民の皆さん・当法人で、一緒に課題の解決策を見出したいと考えています。

## 2 事業の内容

■同事業は、平成 29 年度の知見を活かしたおひとりさまの終活向けパンフレット「おひとりさまの終活入門」の作成と配布、さらにさいたま市 4 会場での啓発イベントを行います。

■パンフレットの執筆には当法人の理事や、関係する有資格者を中心に、平成 29 年度の講師や関係者にも一部執筆を依頼することも検討します。作成したパンフレットは市内の各公共施設、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの各種福祉施設、さらに民間の高齢者施設や葬儀業者など、多くの方々の目に留まるように、1 万部を配架しようと考えています。パンフレットは 12 ページ、遺言、死後事務（葬儀、家財の整理、各種届出など）を内容とする予定です（内容については編集会議で検討します）。

■パンフレットの内容をもとに、さいたま市の浦和、与野、大宮、岩槻の 4 会場で啓発イベントを行います。各会場では、各地域の現状を踏まえ、さらにイベント終了後に、地域で高齢者福祉を行う団体と連携し、それぞれの地域で高齢者を支える体制を作るために協働します。

## 3 事業により期待できる効果

■内閣府発行の『平成 27 年度高齢者白書』によると単身高齢者の 8 割以上が「健康」「介護」「社会的孤立」「貧困」など、何かしらの不安を抱えていると書かれています。啓発パンフレットの発行と啓発イベントによって、単身高齢者の抱える不安の解消に資することができます。また、高齢者の福祉を推進することができます。

■単身高齢者の終活の現状と課題について、社会問題として広く市民に訴求し、認識を深めることにより、前述の死後事務など、生前にきちんと準備をしておくことが当たり前になる時代を目指します。

※記入欄が不足して書ききれない場合には、別紙に記入して添付してください。

団体名 特定非営利活動法人ライフ・アンド・エンディングセンター

#### 4 この事業に関する、団体のこれまでの取組や特性

■平成16年、現在も多数出版されている「エンディングノート」の先駆けとして『もしもノート～20歳から100歳までの危機管理～』を発行。平成30年までに第6版4刷を出版し、累計25万部を販売。

■平成28年にエンディングパスポート事業部設立。死後の事務委任の安全性を確立するため、(株)山田エスクロー信託と金銭信託契約を締結し、少額金銭の信託を可能にしました。これにより、小規模の葬儀代金の信託、死後事務委任のための実費等の信託が個人で利用しやすくなりました。また金銭を信託し、個人財産・法人財産と切り離して信託財産とすることで、いかなる場合でもあらかじめ預け入れた金銭は保全されます。

■よりよい人生の締めくくりのための学習「大往生の勉強会」を平成21年から平成30年1月までに51回実施しました。年6回のペースで継続中です。公民館、高齢者団体、企業等へ多数出講しています。

■平成29年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業「不安のない一人暮らしのための終活」を実施し、6回の講座で延366人の参加をみました。

■メディアへの出演など

- ・平成27年10月NHKラジオ第一「ラジオ深夜便・ないとエッセー」出演。
- ・平成28年5月文化放送ラジオ「キャンサーカフェ～みんなでガンを考えよう～」出演。
- ・平成28年8月読売新聞全国版取材記事掲載。
- ・平成29年1月週刊現代、監修記事掲載。
- ・平成29年11月NHK首都圏ネットワーク、おはよう日本

#### 5 市との協働に期待すること

■これまでは問題意識のある人が自主的に講座に参加するという形でしたが、公共施設や行政の関連施設等でパンフレットを配架することによって、より多くの人に情報を届けることが期待されます。

■この協働事業をモデルケースとして、ここで得た知見を有効に活用し、各方面と連携して課題解決のために取り組んでいきたいと考えます。

#### 6 助成期間終了後の事業展開

■今回作成したパンフレットの配架だけでなく、「大往生の勉強会」や「もしもノート」を通して課題に対しての啓発活動を続けます。

■相談対応や死後事務委任契約を結ぶなど、課題を抱える高齢者に対して、より直接的な対応を行います。

■今回連携した地域団体及び地域の他団体と連携して、よりダイレクトに地域の高齢者に対してアプローチをしていきます。

■メディアを通じて社会問題として発信を継続します。

※記入欄が不足して書ききれない場合には、別紙に記入して添付してください。

## 7 事業のスケジュール

実施時期	実施内容
平成30年5～8月	パンフレット「おひとりさまの終活入門」（仮題）作成 ・編集会議（5月～7月を目途に月2回程度開催予定） ・デザイン、レイアウト調整（8月～9月）
平成30年6～9月	啓発イベントの準備 ・チラシの作成、印刷、配架（9月までに完了予定） ・ゲストや協力団体の調整、交渉
平成30年10月	パンフレット「おひとりさまの終活入門」発行 各会場への配布準備
平成30年11月	第1回 啓発イベント（浦和）
平成30年11月	第2回 啓発イベント（岩槻）
平成30年12月	第3回 啓発イベント（与野）
平成30年12月	第4回 啓発イベント（大宮）

団体名 特定非営利活動法人ライフ・アンド・エンディングセンター

## 8 事業の実施体制

氏名	団体における役職等	この事業における役割
須齋 美智子	理事長	代表窓口、総括
		事務局
		事務局、パンフレット担当
		事務局
		事務局
		事務局
		講座、パンフレット作成担当
		講座、パンフレット作成担当
		講座、パンフレット作成担当

※ 事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。

## 他団体との連携状況

以下の企業、団体と連携してパンフレットの作成や講座立案の事業を推進する  
株式会社山田エスクロー信託・株式会社合同会計・株式会社 Green  
株式会社セレモア・株式会社博愛社・株式会社武蔵浦和会館  
日乗山秀善寺遍照院・有限会社オリジン研究所海洋自然葬  
株式会社クリーンキーパー・有限会社メルヘン産業  
NPO 法人市民後見センターさいたま  
くきた司法書士行政書士事務所・ASK行政書士法人  
赤堀行政書士事務所・葬送ジャーナリスト碑文谷創氏

※ 企業・自治会・NPO・ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。

## 事業収支予算書

&lt;収入&gt;

単位：円

区分		金額	内訳
自己 資金	自己拠出金	60,000	本会計より拠出 連続講座参加費 1,000円×60人×4回
	参加費	240,000	
自己資金(a)		300,000	
助成金交付申請額(b) (100万円以内)		681,810	
収入合計(c)=(a)+(b)		981,810	

&lt;支出&gt;

区分		金額	内訳
助 成 金 充 当 経 費  対 象 経 費	講師謝金	120,000	20,000×4回 10,000円×4回
	謝金	200,000	制作・デザイン 150,000円 (冊子、チラシのデザインレイアウト) パンフレット執筆 50,000円 (10ページ×5,000円)
	通信費(郵便)	100,800	個人会員、昨年の参加者へのチラシ発送 160円×300名×2回 協力団体に発送 160円×30団体
	印刷費	133,010	全体チラシ 11,270円(5,000部) 各会場チラシ 2,960円(1,000部)×4 冊子 99,900円 12P×10,000部 講座資料印刷 10,000円(2,500円×4)
	会場費	60,000	会場費 10,000円×4会場 機材費 5,000円×4会場
	ボランティア交通費	38,000	1,000円×8名×4回(講座) 500円×2名×6回(編集会議)
	消耗品費	30,000	紙代、封筒代、インク代
助成金充当経費(d)		681,810	

対象外経費	自己資金充当経費	助成対象経費のうち、助成金限度額を上回る部分		
		事務局人件費	300,000	日当 5,000 円×2 人×30 日
		自己資金充当経費(e)	300,000	
		総事業費(f)=(d)+(e)	981,810	

※(a)=(e)、(b)=(d)、(c)=(f)となるように記入してください。



## 助成金限度額計算書

単位：円

区分	金額	内訳	
自己資金(a) × 3	900,000		
無報酬で事業に参加する市民の労力	事業の実施時期・内容	※人数×時間×500円×回数	
	① 平成30年6月 第3回編集会議	2,000 2人×2時間×500円	
	② 平成30年7月 第4回編集会議 第5回編集会議	2,000 2人×2時間×500円 2,000 2人×2時間×500円	
	③ 平成30年8月 第6回編集会議 第7回編集会議	2,000 2人×2時間×500円 2,000 2人×2時間×500円	
	④ 平成30年9月 第8回編集会議	2,000 2人×2時間×500円	
	⑤ 平成30年10月 第1回連続講座 第2回連続講座	12,000 6人×4時間×500円 12,000 6人×4時間×500円	
	⑥ 平成30年11月 第3回連続講座 第4回連続講座	12,000 6人×4時間×500円 12,000 6人×4時間×500円	
	労力換算額(g)	60,000	
	助成金限度額(h) = (a) × 3 + (g)	960,000	

助成金交付申請額(b) ≤ 助成金限度額(h)

681,810円 ≤ 960,000円

## 無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・内容の番号	氏名	住所	印
<p>④～⑤の連続講座に参加する。</p> <p>※シフト調整し、6名ずつ参加する。</p>			

注1) 助成金限度額計算書(別紙2の2)で記入した事業の実施時期・内容の番号にあわせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。

注2) 実績報告書に添付する際は、参加者の認印を押印してください。

注3) 記入欄が不足する場合には、別紙に記入して添付してください。

## 団体概要

団体名	とくていひえいりかつどうほうじんらいふ・あんど・えんでいんぐせんたー 特定非営利活動法人ライフ・アンド・エンディングセンター																									
代表者	(ふりがな) すさい みちこ 須齋 美智子																									
連絡 責任者	氏名	(ふりがな) [REDACTED]																								
	住所	〒 [REDACTED] [REDACTED]																								
	電話・FAX	電話 [REDACTED]	FAX [REDACTED]																							
	E-mail	[REDACTED]																								
設立年月日	2000年12月27日																									
団体の目的	よりよい人生の締めくくりに必要な情報を提供し、個々の市民の自己決定に必要な生前の事務処理、葬送支援、死後の事務処理の受託、遺言執行等の事業を行い、自然で人間らしい死のあり方を求め、文化的で快適な市民生活の増進に寄与することを目的とする。																									
会員数	個人会員	79名	団体会員 団体																							
さいたま市内における 主な活動内容	<p>■シンポジウム（浦和コミュニティセンター）開催 平成29年1月29日（土）100名の一般参加者と10社の近隣企業、2社の報道記者が参加。第1部：さいたま市老人福祉施設協議会小松会長の基調講演、第2部：パネルディスカッションを実施。パネリストとして、聖学院大学・平副学長、地域包括支援センター諏訪の苑・永松センター長、森行政書士・シャロンFC経営労務事務所・森所長が参加。</p> <p>■大往生の勉強会（浦和コミュニティセンター）開催 平成21年に講座開始、平成30年1月までに51回実施。年6回のペースで本年度も継続実施中。</p> <p>■葬送支援業務 会員並びに特別養護老人ホーム入居者の葬送を支援。 平成29年度3件実施。</p>																									
団体の財政規模	本年度予算（平成29年8月～平成30年7月）																									
	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">&lt;収入の部&gt;</td> <td colspan="2">&lt;支出の部&gt;</td> </tr> <tr> <td>会費収入</td> <td>405千円</td> <td>事業費</td> <td>5,600千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>50千円</td> <td>管理運営費</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>6,800千円</td> <td>その他支出</td> <td>-千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>-千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,255千円</td> <td>計</td> <td>7,100千円</td> </tr> </table>		<収入の部>		<支出の部>		会費収入	405千円	事業費	5,600千円	寄附収入	50千円	管理運営費	1,500千円	事業収入	6,800千円	その他支出	-千円	その他収入	-千円			計	7,255千円	計	7,100千円
<収入の部>		<支出の部>																								
会費収入	405千円	事業費	5,600千円																							
寄附収入	50千円	管理運営費	1,500千円																							
事業収入	6,800千円	その他支出	-千円																							
その他収入	-千円																									
計	7,255千円	計	7,100千円																							
前年度決算（平成28年8月～平成29年7月）																										
<table border="0"> <tr> <td colspan="2">&lt;収入の部&gt;</td> <td colspan="2">&lt;支出の部&gt;</td> </tr> <tr> <td>会費収入</td> <td>383千円</td> <td>事業費</td> <td>4,211千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>32千円</td> <td>管理運営費</td> <td>1,660千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>4,312千円</td> <td>その他支出</td> <td>-千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>-千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,727千円</td> <td>計</td> <td>5,871千円</td> </tr> </table>		<収入の部>		<支出の部>		会費収入	383千円	事業費	4,211千円	寄附収入	32千円	管理運営費	1,660千円	事業収入	4,312千円	その他支出	-千円	その他収入	-千円			計	4,727千円	計	5,871千円	
<収入の部>		<支出の部>																								
会費収入	383千円	事業費	4,211千円																							
寄附収入	32千円	管理運営費	1,660千円																							
事業収入	4,312千円	その他支出	-千円																							
その他収入	-千円																									
計	4,727千円	計	5,871千円																							